

令和6年度医薬品販売制度実態把握調査結果について（概要）

令和7年8月
医薬局総務課

1. 調査の目的

若年者の間で医薬品の濫用が問題になっていることや、医薬品の販売制度に関する検討会での検討等を踏まえ、医薬品の販売ルールの遵守状況等について、一般消費者の立場からの目線で調査することにより、医薬品販売の適正化を図ることを目的としている。

2. 調査の内容

注）委託により実施（委託先：株式会社mitoriz）

（1）薬局・店舗販売業の店舗販売に関する調査

全国の薬局・店舗販売業の許可を取得している店舗を対象に、一般消費者である調査員が選択した店舗を訪問し、店舗での状況や従事者の対応等について調査。

（調査対象数）3,028件（うち、薬局1,355件、店舗販売業1,673件）

（調査期間） 令和6年11月～令和7年2月

- （調査事項）
- ① 取扱医薬品の種類
 - ② 医薬品の陳列状況
 - ③ 店舗内の掲示状況
 - ④ 名札の着用状況
 - ⑤ 医薬品（※）の販売状況

※要指導医薬品、第1類医薬品、第2類医薬品に調査対象を分け実施

（2）薬局・店舗販売業の特定販売（インターネット販売）に関する調査

インターネットで一般用医薬品を販売しているサイトを厚生労働省ホームページに掲載されている「一般用医薬品の販売サイト一覧」から選定し、一般消費者である調査員が調査。

（調査対象数）400件

（調査期間） 令和6年12月～令和7年2月

- （調査事項）
- ① 取扱医薬品の種類
 - ② 掲示事項の掲載状況
 - ③ 店舗内の掲示状況
 - ④ 医薬品（※）の販売状況

※第1類医薬品、第2類医薬品、第3類医薬品に調査対象を分け実施

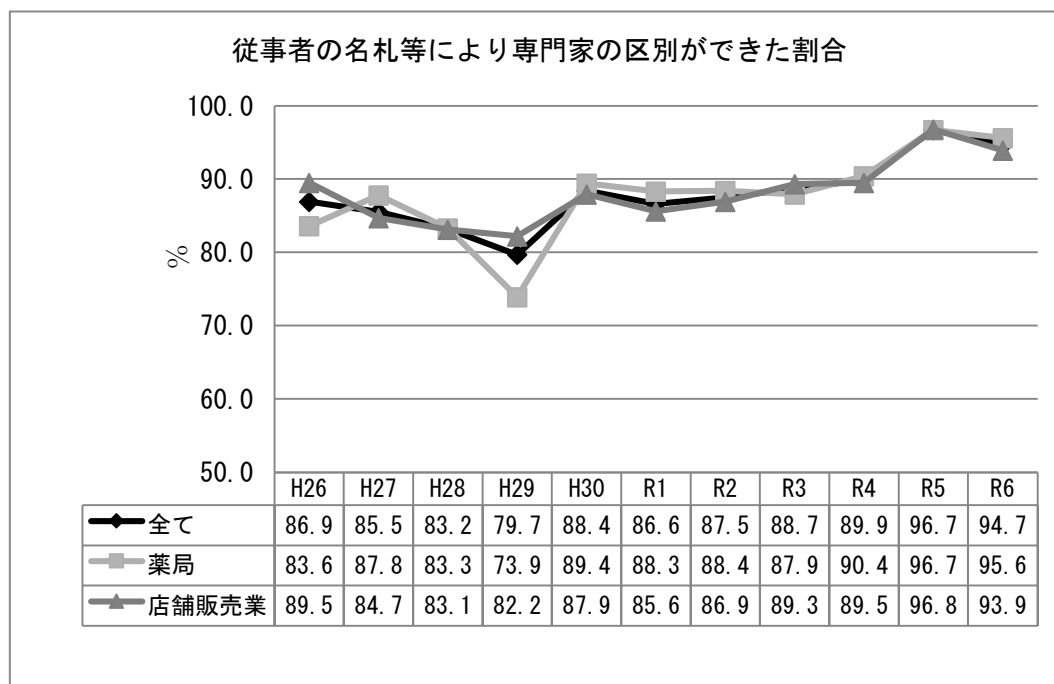
3. 主な調査結果 (小数第2位を四捨五入しており、合計が100%とならない場合があります)

(1) 薬局・店舗販売業の店舗販売に関する調査

① 従事者の名札等により専門家の区別ができたか：

調査件数3,028件（薬局1,355件 店舗販売業1,673件）

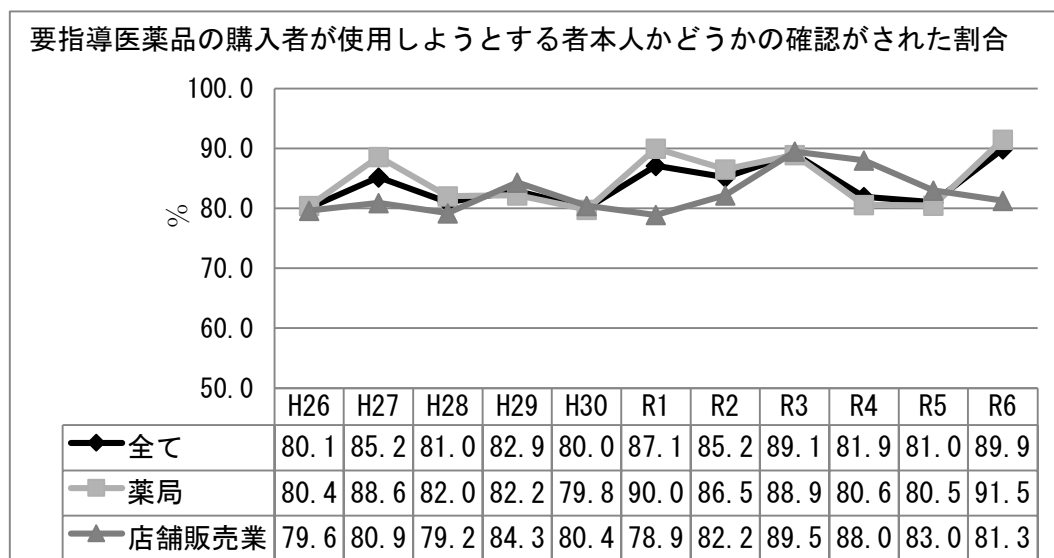
区別できた 94.7%(2,867件)／区別できなかった等 5.3%(161件)



② 要指導医薬品の購入者が使用しようとする者本人かどうかの確認：

調査件数404件（薬局340件 店舗販売業64件）

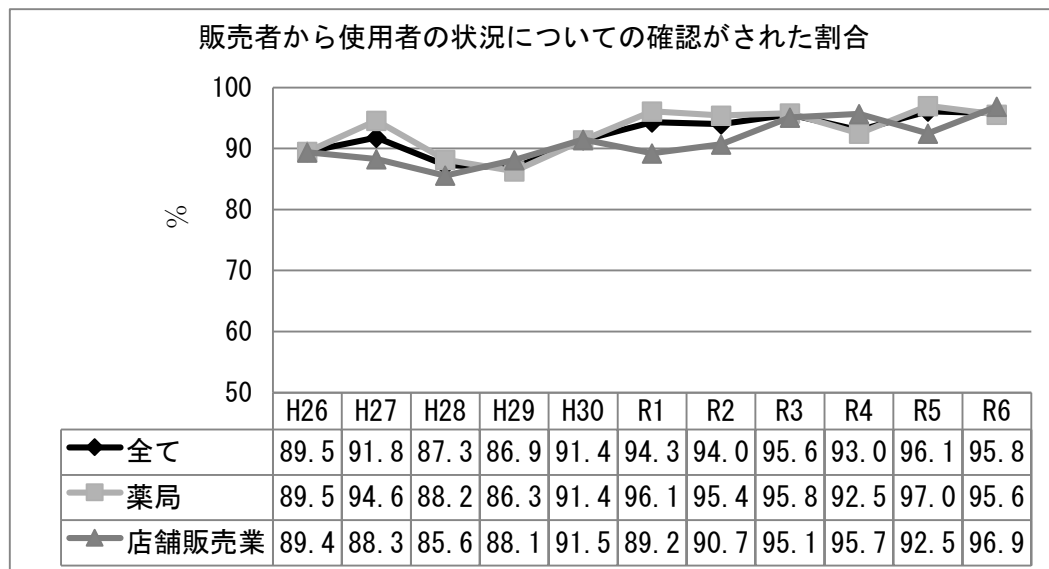
確認あり 89.9%(363件)／確認なし 10.1%(41件)



③ 要指導医薬品販売時における使用者の状況（*）についての確認：

調査件数404件（薬局340件 店舗販売業64件）

確認あり 95.8%(387件)／確認なし 4.2%(17件)

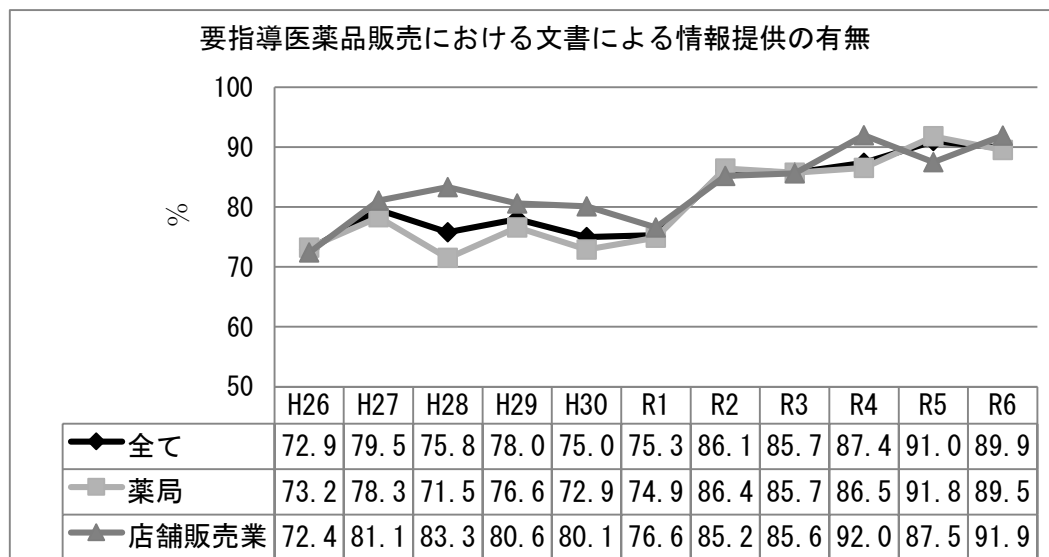


* 年齢、症状、他の医薬品の使用の状況等

④ 要指導医薬品販売における文書による情報提供の有無：

調査件数395件（薬局333件 店舗販売業62件）

文書を用いて情報提供があった 89.9%（355件）／文書を渡されたが詳細な説明がなかった 0.5%（2件）／口頭のみでの説明だった 9.6%（38件）

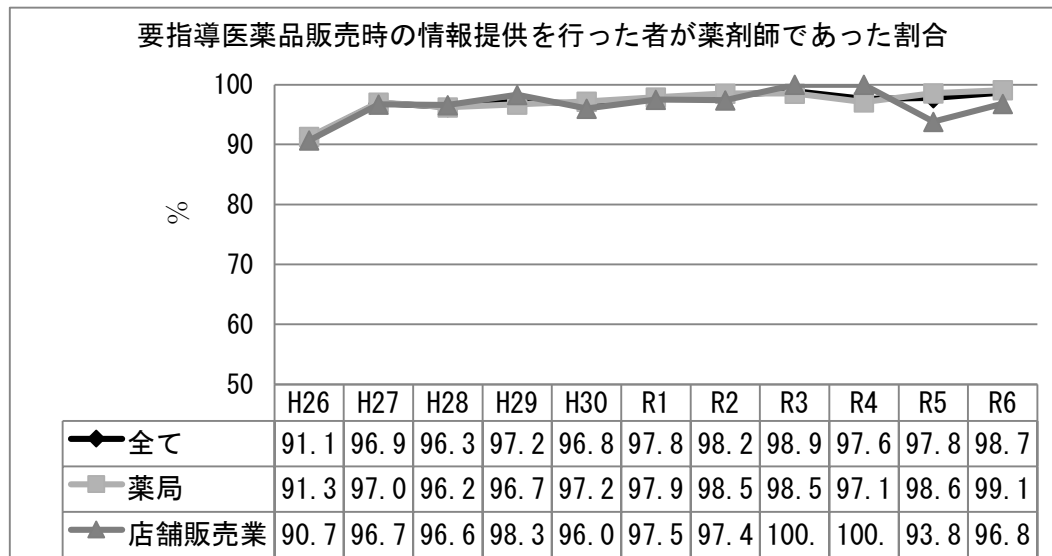


※情報提供があった店舗（令和6年度395件（97.8%））のうち、文書を用いて情報提供があった等の数値

⑤ 要指導医薬品販売時の情報提供を行った者：

調査件数395件（薬局333件 店舗販売業62件）

薬剤師 98.7%（390件）／登録販売者 0.8%（3件）／一般従事者 0.5%（2件）

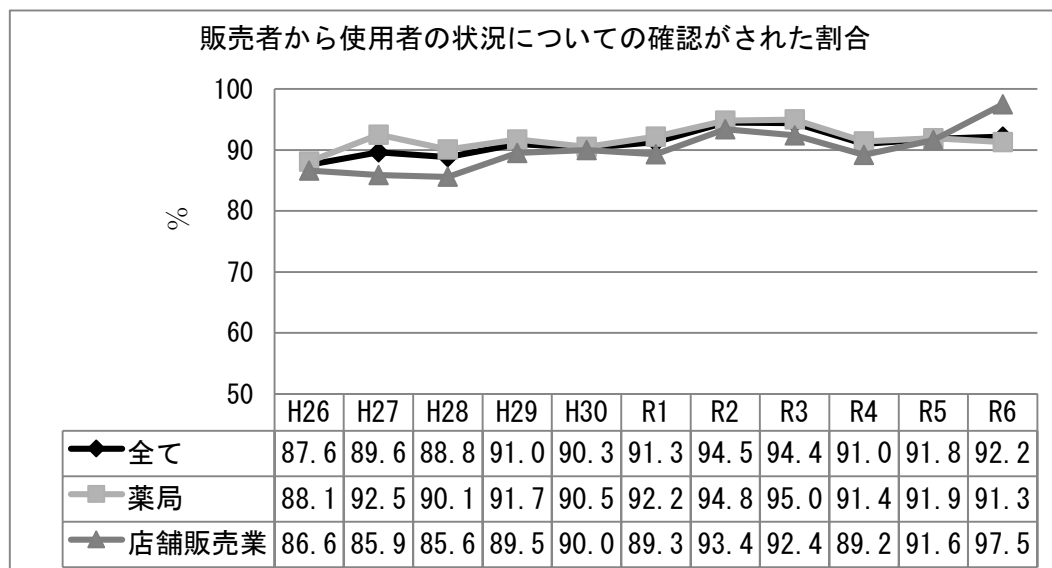


※情報提供があった店舗（令和6年度395件（97.8%））のうち情報提供を行った者の数値

⑥ 第1類医薬品販売時における使用者の状況（*）についての確認：

調査件数820件（薬局702件 店舗販売業118件）

確認あり 92.2%（756件）／確認なし 7.8%（64件）

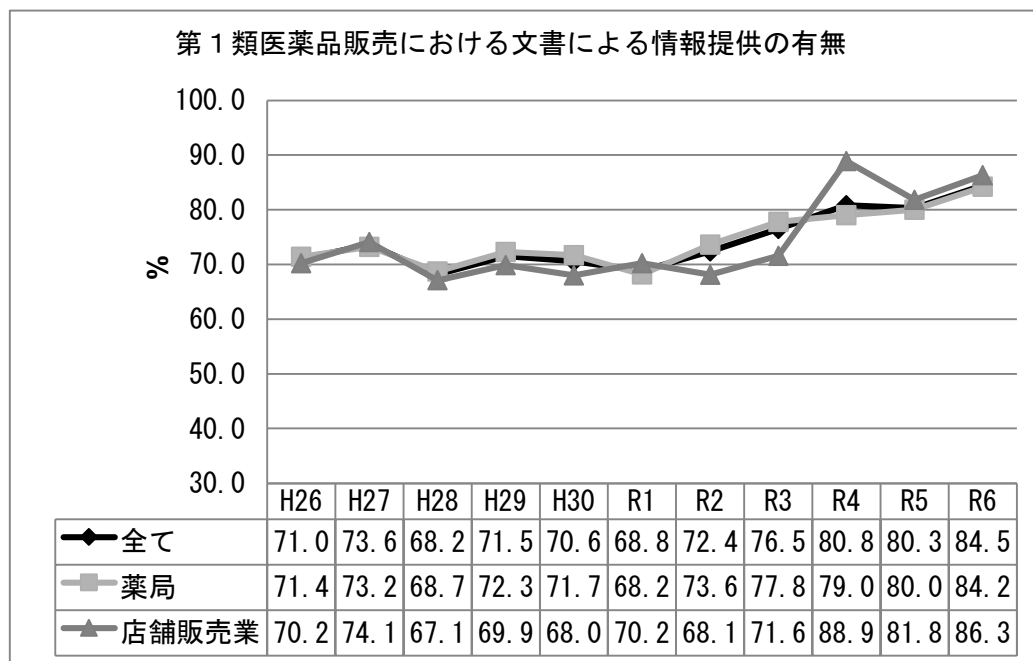


* 年齢、症状、他の医薬品の使用の状況等

⑦ 第1類医薬品販売における文書による情報提供の有無：

調査件数795件（薬局678件 店舗販売業117件）

文書を用いて情報提供があった 84.5%（672件）／文書を渡されたが詳細な説明がなかった 0.6%（5件）／口頭のみでの説明だった 14.8%（118件）

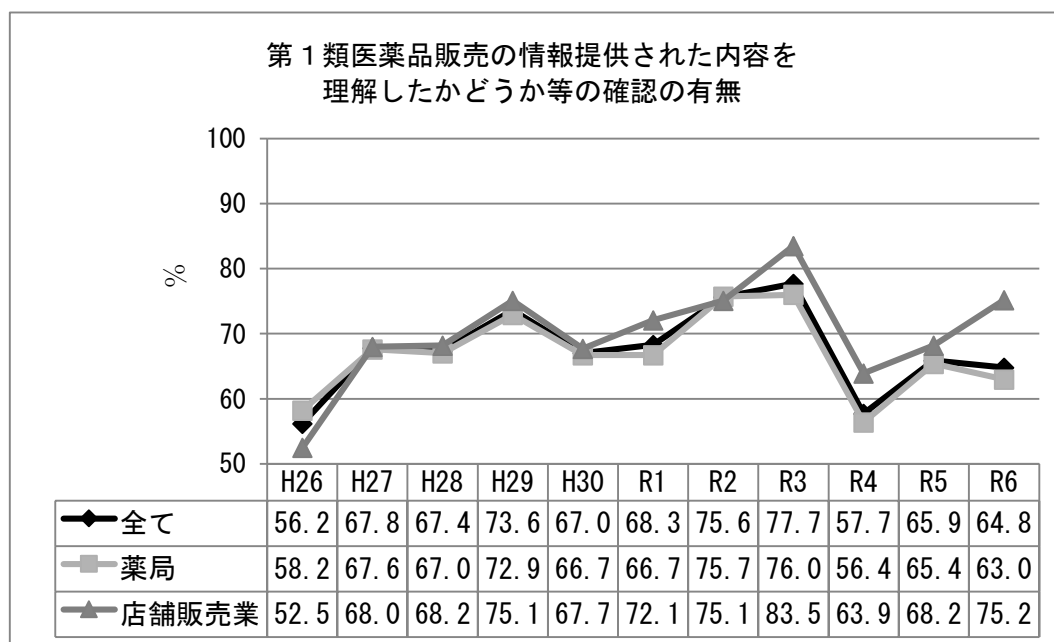


※情報提供があった店舗（令和6年度795件（97.0%））のうち、文書を用いて情報提供があった等の数値

⑧ 第1類医薬品販売の情報提供された内容を理解したかどうか等の確認の有無：

調査件数 795 件（薬局 678 件 店舗販売業 117 件）

確認があった 64.8%（515件）／ 確認がなかった 35.2%（280件）

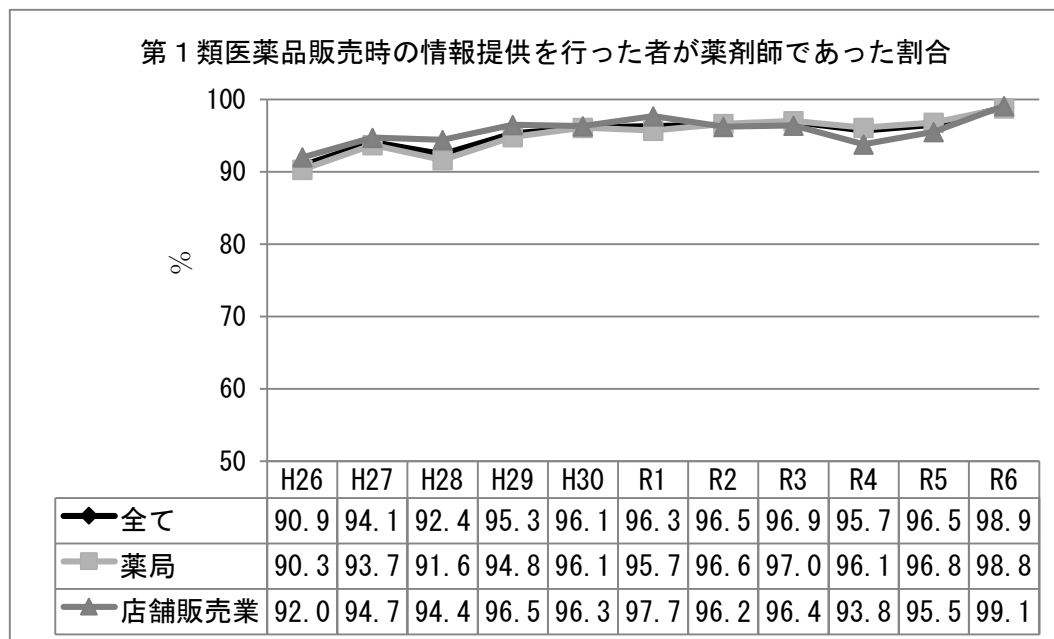


※情報提供があった店舗（令和6年度795件（97.0%））のうち、情報提供された内容を理解したかどうか等の確認の有無の数値

⑨ ⑦の情報提供を行った者：

調査件数 795 件（薬局 678 件 店舗販売業 117 件）

薬剤師 98.9% (786件)／登録販売者 0.3% (2件)／一般従事者 0.0% (0件)／わからなかった 0.9% (7件)

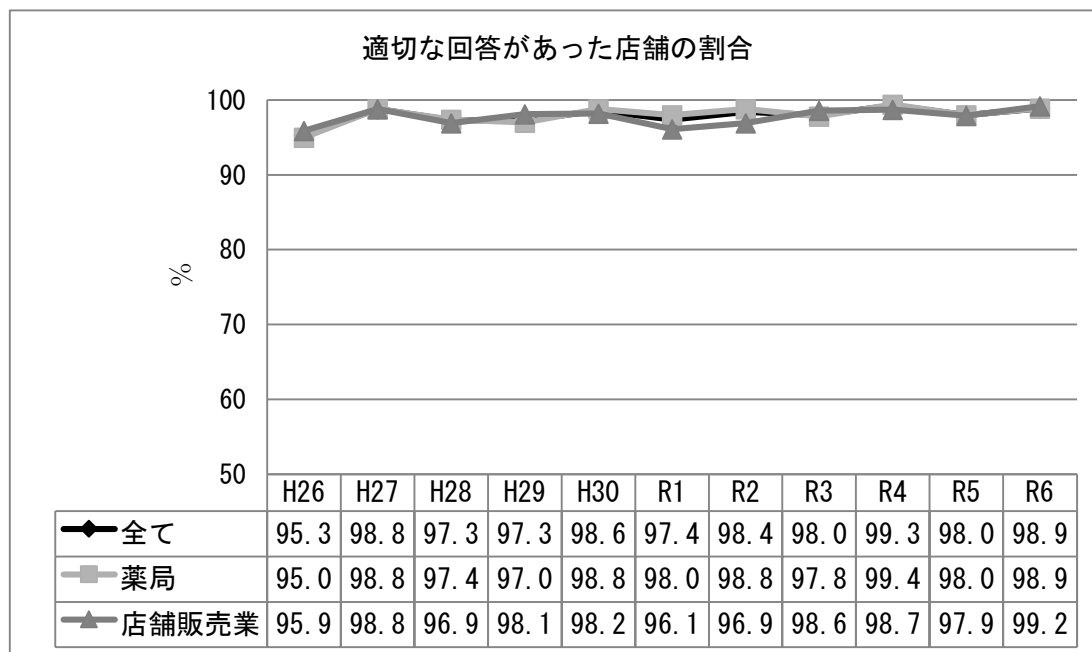


※情報提供があった店舗（令和6年度795件（97.0%））のうち、情報提供を行った者の数値

⑩ 第1類医薬品に関する相談に対し、適切な回答があったか（*）：

調査件数 820 件（薬局 702 件 店舗販売業 118 件）

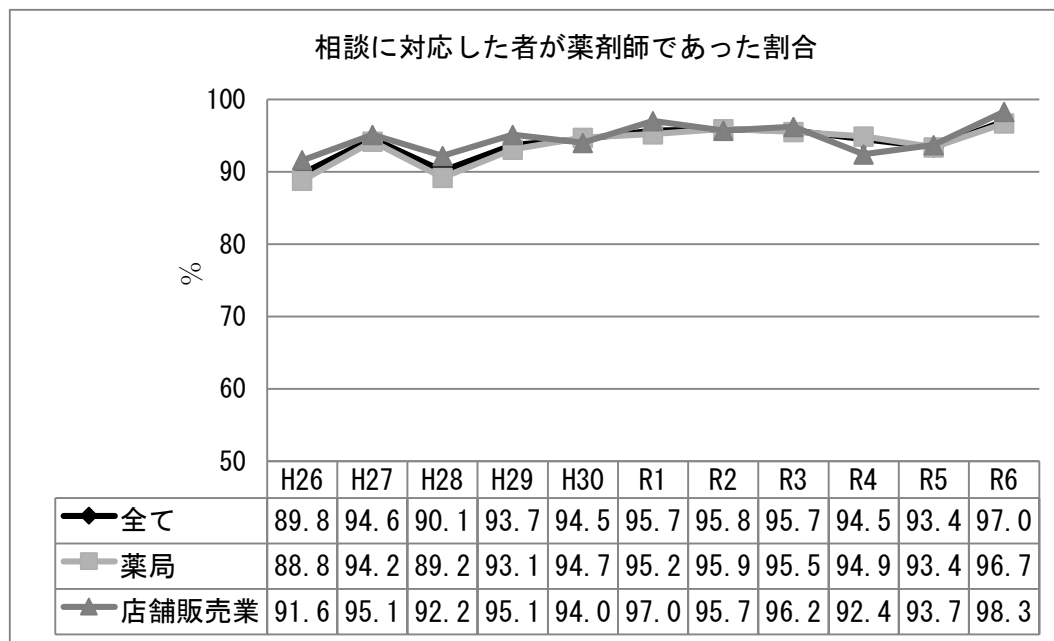
適切な回答があった 98.9% (811件)／適切な回答がなかった 1.1% (9件)



⑪ ⑩の相談に対応した者の資格：

調査件数 820 件（薬局 702 件 店舗販売業 118 件）

薬剤師 97.0%（795件）／登録販売者 2.0%（16件）／一般従事者 0.2%（2件）／わからなかった 0.9%（7件）

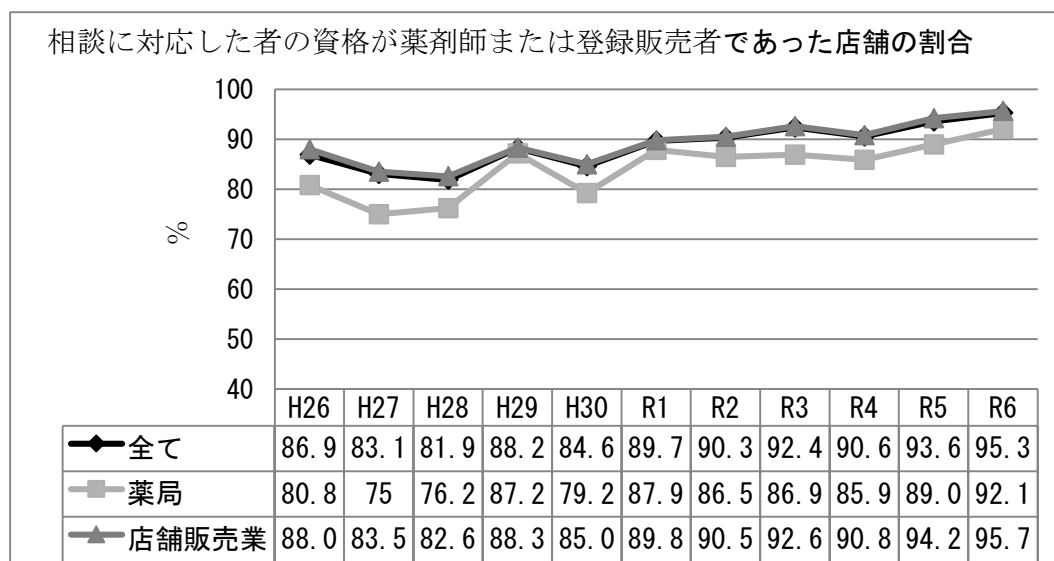


⑫ 第2類医薬品等に関する相談に対応した者の資格

調査件数 1,455 件（薬局 203 件 店舗販売業 1,252 件）

薬剤師 7.7%（112 件）／登録販売者 87.6%（1,274 件）

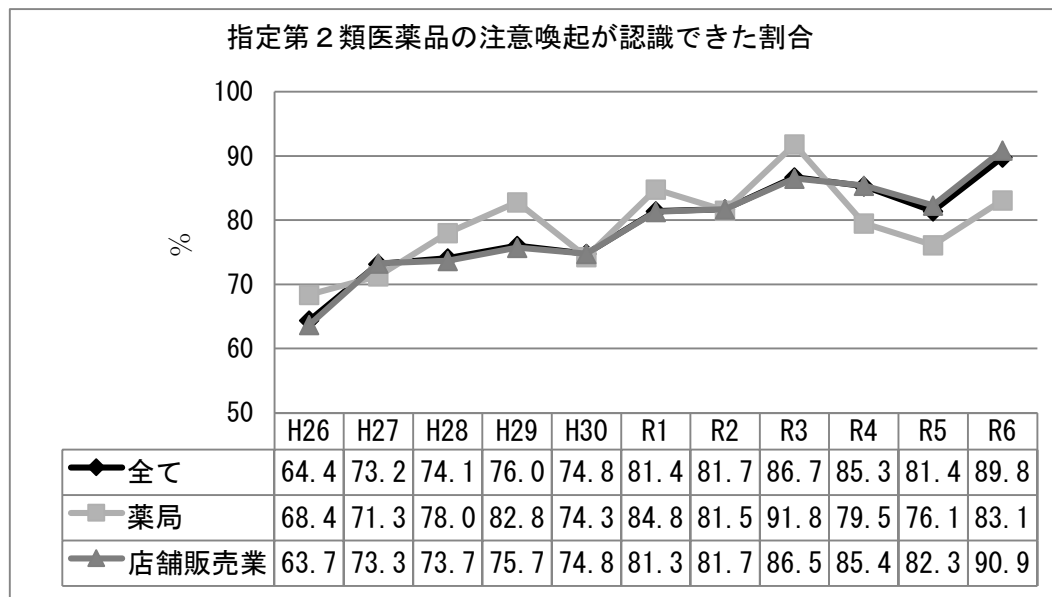
一般従事者 2.5%（36 件）／わからなかった 2.3%（33 件）



⑬ 指定第2類医薬品の注意喚起（＊）の状況：

調査件数 1,562 件（薬局 219 件 店舗販売業 1,343 件）

認識できた 89.8% (1,403 件)／認識できなかった 10.2% (159 件)

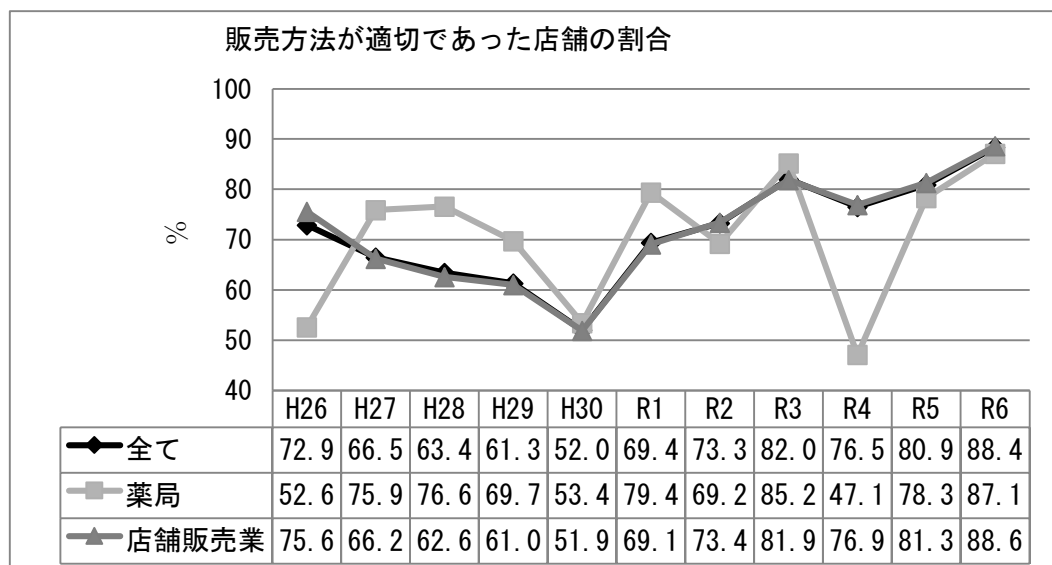


＊ 「禁忌を確認すること」、「薬剤師または登録販売者に相談すること」を勧める旨

⑭ 濫用等のおそれのある医薬品（＊1）を複数購入しようとした時の対応（＊2）：

調査件数 1,519 件（薬局 202 件 店舗販売業 1,317 件）

1つしか購入できなかった 43.7% (664 件)／複数必要な理由を伝えたところ、購入できた 44.7% (679 件)／質問等されずに購入できた 11.6% (176 件)



＊1 エフェドリン／コデイン／ジヒドロコデイン／ブロモバレリル尿素／プソイドエフェドリン／メチルエフェドリンを成分として含有する医薬品。

＊2 「1つしか購入できなかった」、「複数必要な理由を伝えたところ、購入できた」を販売方法が適切であったとした。

⑮ 相談を行わずに一般用医薬品（第1類医薬品を除く。）を購入しようとした際の対応：

調査件数 349 件（薬局 110 件 店舗販売業 239 件）

対応状況		薬局（110 件）	店舗販売業（239 件）	計（349 件）
1	薬剤師・登録販売者がレジ対応をした	91 (82.7)	190 (79.5)	281 (80.5)
2	会計等は薬剤師・登録販売者以外が対応したが、情報提供や相談は薬剤師・登録販売者が行った	14 (12.7)	28 (11.7)	42 (12.0)
3	医薬品購入前に薬剤師・登録販売者から声をかけられた	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
4	レジで薬剤師または登録販売者に相談してから会計をするよう言われた	0 (0.0)	2 (0.8)	2 (0.6)
5	薬剤師・登録販売者の説明が必要か聞かれ「必要ない」と答えるとそのまま売ってくれた	1 (0.9)	0 (0.0)	1 (0.3)
6	質問等されずに医薬品を購入できた	4 (3.6)	16 (6.7)	20 (5.7)
7	その他	0 (0.0)	3 (1.3)	3 (0.9)

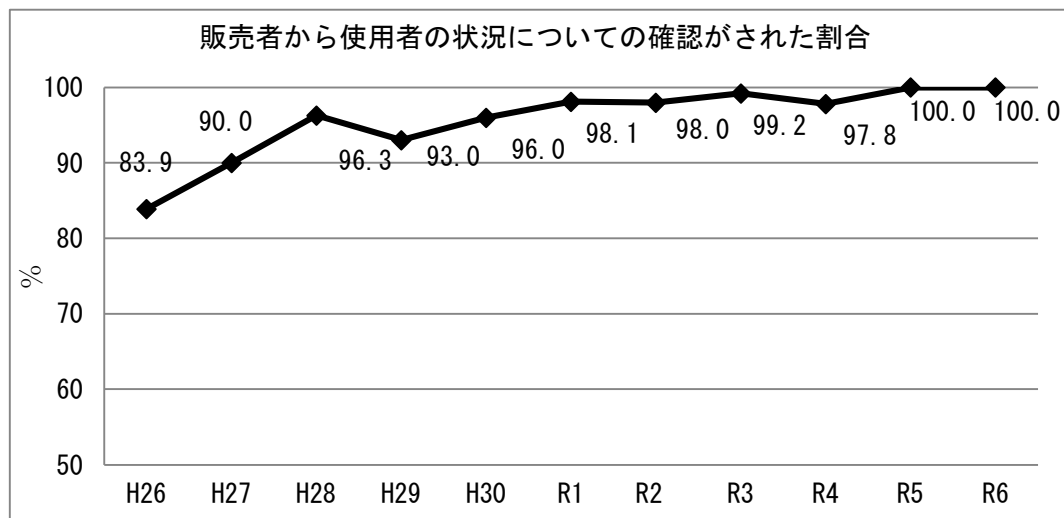
※ 2～7については、薬剤師・登録販売者以外がレジ対応した場合の対応状況となっている。

(2) 特定販売（インターネット販売）に関する調査

① 第1類医薬品販売時の使用者の状況（*）についての確認状況：

調査件数 70 件（薬局 25 件 店舗販売業 45 件）

確認あり 100.0%(70 件)／確認なし 0.0%(0 件)

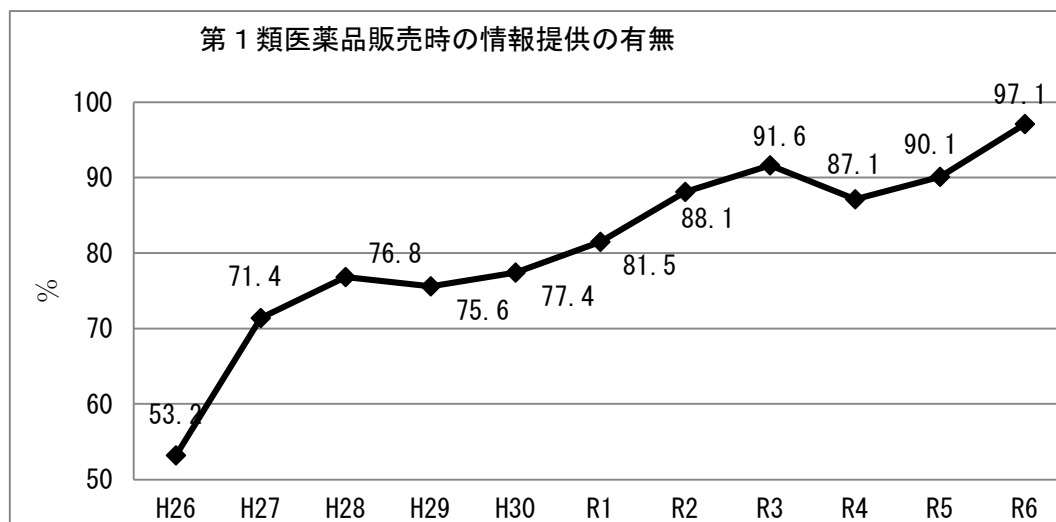


* 年齢、症状、他の医薬品の使用の状況等

② 第1類医薬品販売時の情報提供の有無（*）：

調査件数 70 件（薬局 25 件 店舗販売業 45 件）

情報提供あり 97.1%(68件)／情報提供なし2.9%(2件)

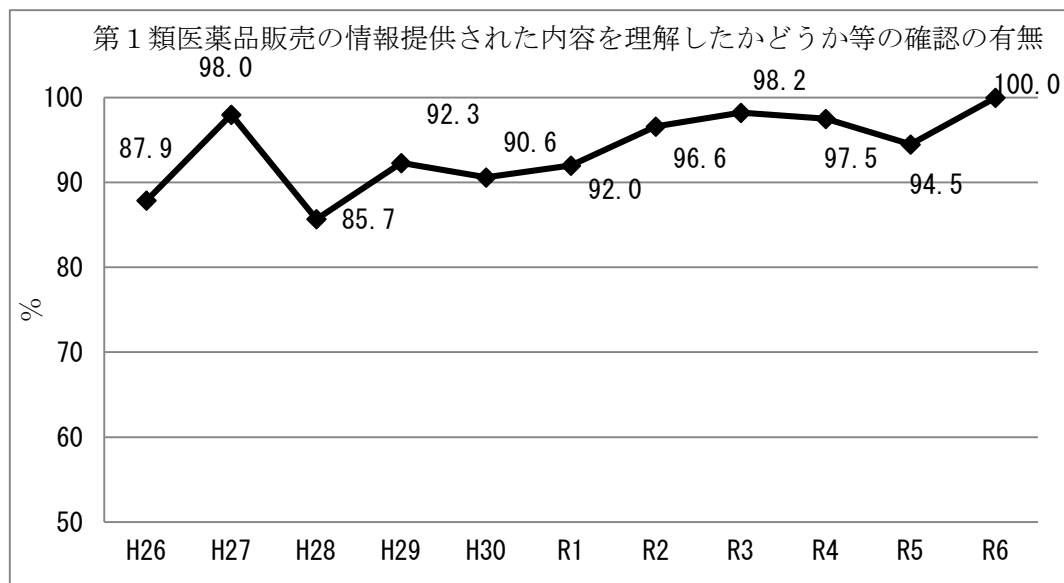


* 購入者が購入前に確認する必要等の有無にかかわらず、Web サイトに情報が掲載されていた場合に情報提供ありとしている。

③ 第1類医薬品販売の情報提供された内容を理解したかどうか等の確認の有無：

調査件数 68 件（薬局 24 件 店舗販売業 44 件）

確認があった 100.0%（68件）／ 確認がなかった 0.0%（0件）



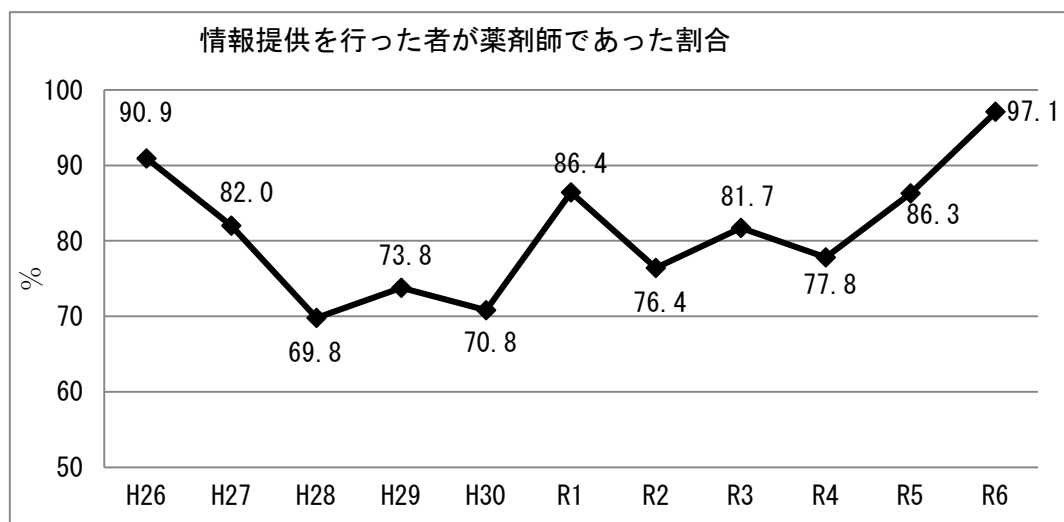
※情報提供があったウェブサイト（令和6年度 68 件（97.1%））のうち、情報提供された内容を理解したかどうか等の確認の有無の数値

④ ②の情報提供を行った者の資格：

調査件数68件（薬局24件 店舗販売業44件）

薬剤師 97.1%（66件）／ 登録販売者 1.5%（1件）／

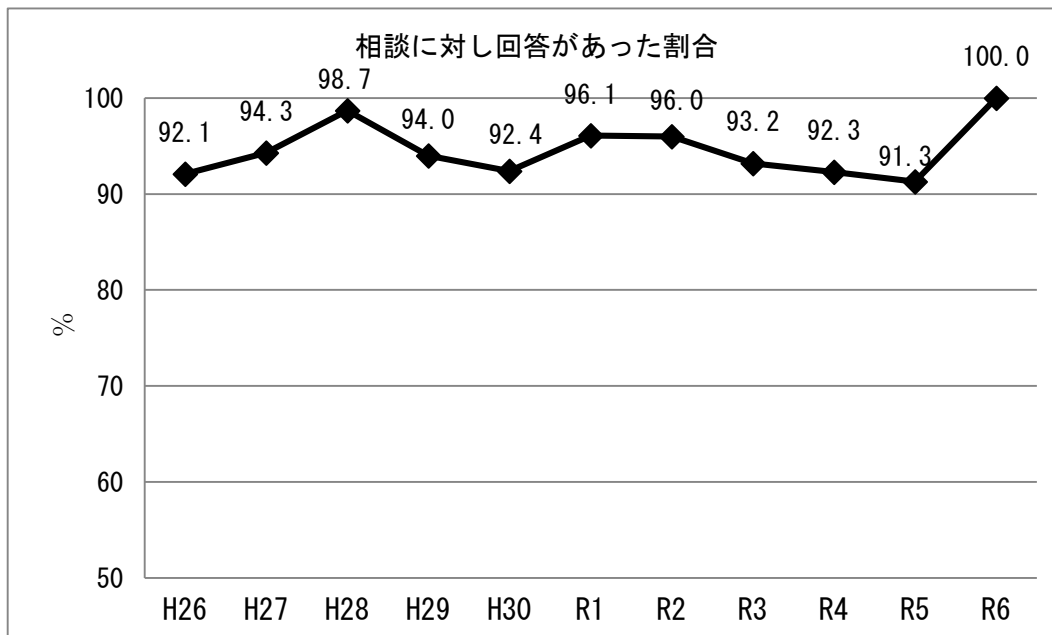
わからなかった 1.5%（1件）



⑤ 第1類医薬品販売時の相談に対し回答があったかどうか：

調査件数 70 件（薬局 25 件 店舗販売業 45 件）

回答あり 100.0%（70件）／回答なし 0.0%（0件）

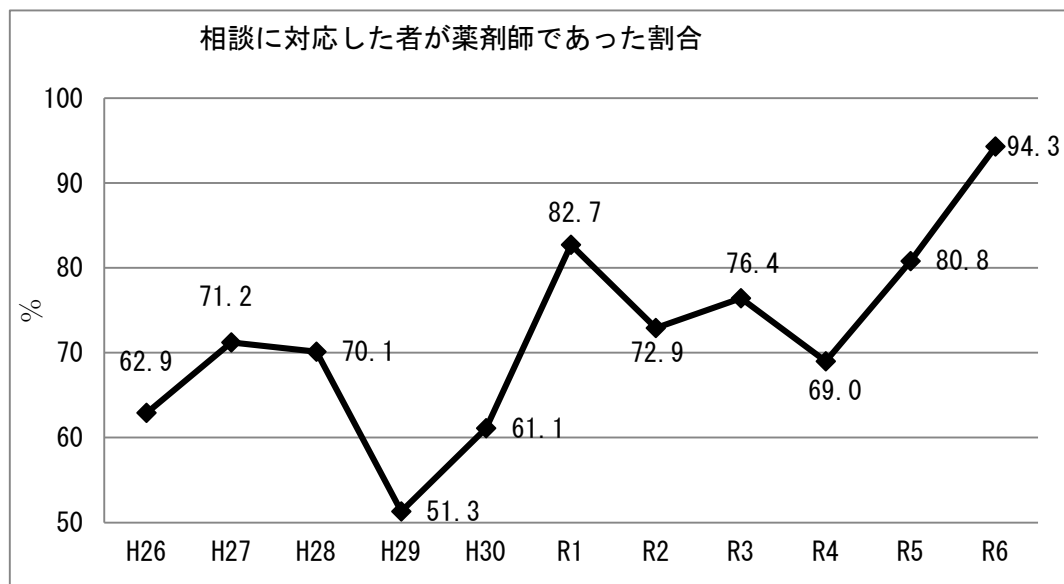


⑥ ⑤の相談に対応した者の資格：

調査件数：70件（薬局25件 店舗販売業45件）

薬剤師 94.3%（66件）／登録販売者 1.4%（1件）／

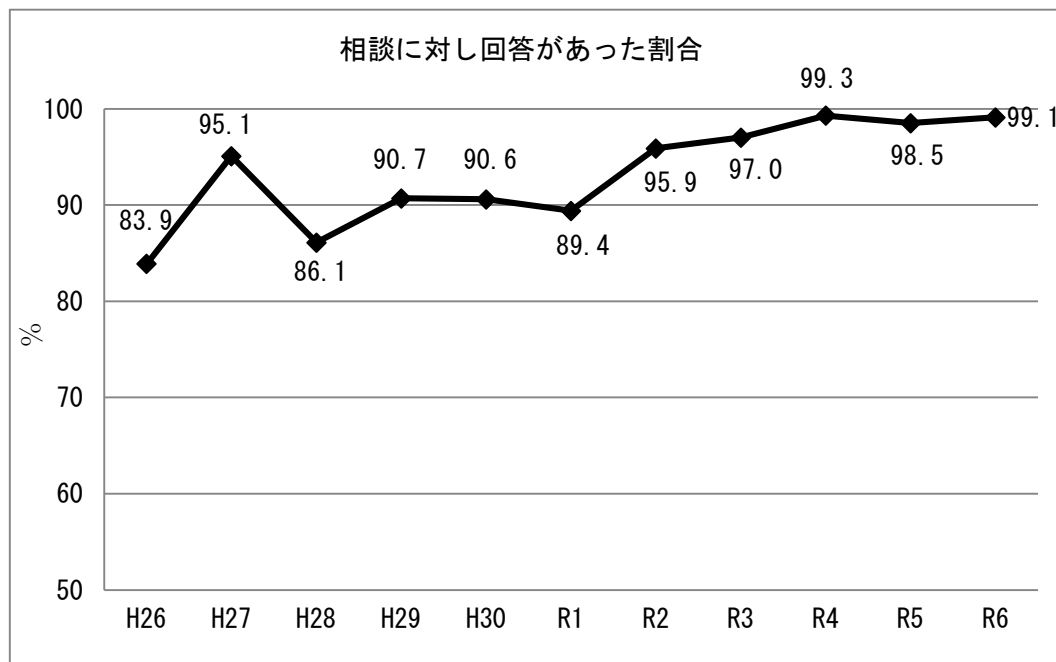
わからなかった 4.3%（3件）



⑦ 第2類医薬品等に関する相談に対し回答があったかどうか：

調査件数330件（薬局87件 店舗販売業243件）

回答あり 99.1%(327件)／回答なし 0.9%(3件)

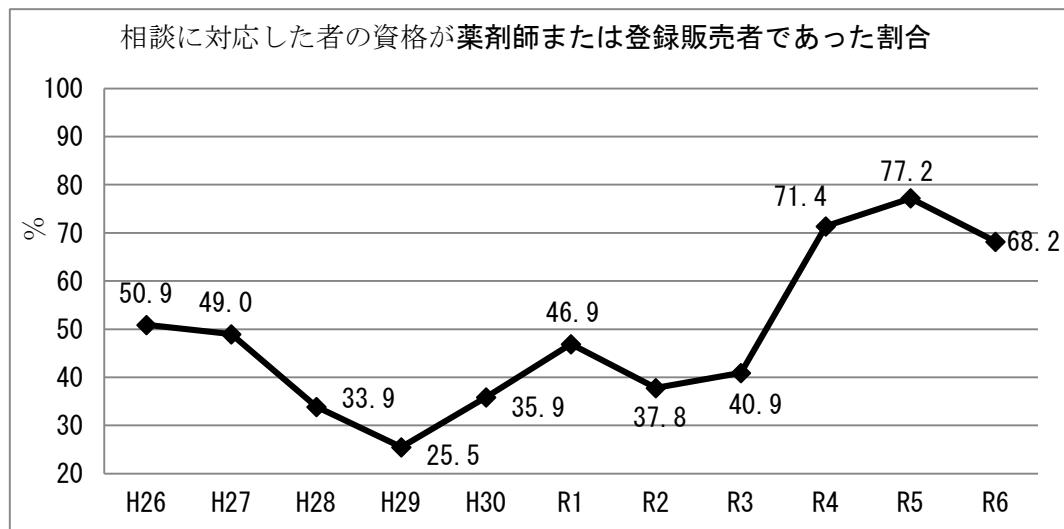


※相談に対し返信があった割合

⑧ ⑦の相談に対応した者の資格：

調査件数327件（薬局87件 店舗販売業240件）

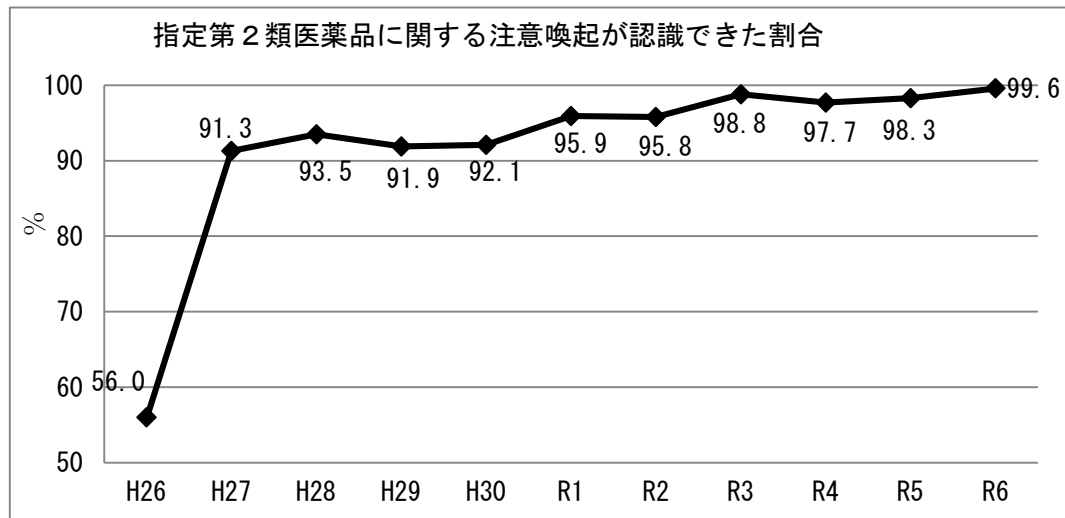
薬剤師 24.2%(79件)／登録販売者 44.0%(144件)／わからなかった 31.8%(104件)



⑨ 指定第2類医薬品に関する注意喚起（＊）の状況：

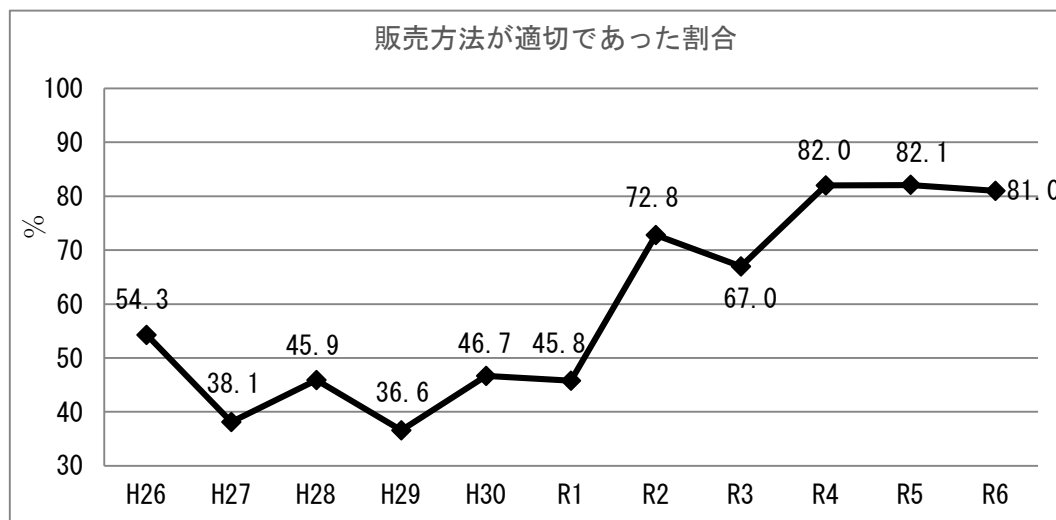
調査件数225件（薬局52件 店舗販売業173件）

認識できた 99.6% (224件)／認識できなかった 0.4% (1件)



＊ 「禁忌を確認すること」、「薬剤師または登録販売者に相談すること」を勧める旨

- ⑩ 濫用等のおそれのある医薬品（＊１）を複数購入しようとした時の対応（＊２）：
 調査件数126件（薬局23件 店舗販売業103件）
 １つしか購入できなかった（＊３） 74.6%(94件)／複数必要な理由を伝えたところ、購入できた 3.2%(4件)／購入せずに医者を受診するようにすすめられた
 3.2%(4件)／質問等されずに購入できた 19.0%(24件)



- ＊１ エフェドリン／コデイン／ジヒドロコデイン／ブロモバレリル尿素／プソイドエフェドリン／メチルエフェドリンを成分として含有する医薬品。
- ＊２ 「１つしか購入できなかった」、「複数必要な理由を伝えたところ、購入できた」、「購入せずに医者を受診するようにすすめられた」を販売方法が適切であったとした。
- ＊３ 「１つしか購入できなかった」際の好事例として、プルダウン等でカートに１つしか入れられない仕様になっていたことが挙げられる。また、一般的に、一定期間は連続して購入が出来ない仕様になっていることも好事例として挙げられる。一方で、対応が適切でなかったものとして、カートに複数個入れ、特に理由等の確認もなく購入手続きが完了し、実際に複数個医薬品が届いた事例が挙げられる。